

今年の3月に退職し、早速、夫と隣に住む息子夫婦と孫の5人でハワイに行ってきました(笑)。趣味の旅行には仲良しの友達ともよく出掛けます。興味を持っていた食生活改善推進員(通称「食改さん」)の講習も受け始めました。

人とのふれあいが好きなので、母がしてきたように、地域の人とたくさん話ができるようになったらいいなと思っています。

相田みつをさんの詩「みんなほんもの」のように、背伸びしない本当の自分で歩んでいきたいですね。

「友達と孫の自慢話をしています」と笑顔で話す岡さん。お孫さんの成長が楽しみです。

自然体の人生を



おか たみこ
岡 多美子さん (比江)

メンバー募集中



よしかわ ふみえ
吉川富美枝さん (久礼田)

に
こ
こ
ら
い
ふ

146



家具職人の二代目に嫁ぎ、事務・販売・木工品の塗装を担当しています。木工の手伝いは見よう見まねで覚えましたが、夫と24時間一緒にいるので、仲がいいねとよく言われます。

35年間、ママさんバレーで汗を流してきました。それまでスポーツの経験はなく、健康のためにと始めましたが、やっているうちに上を目指そうと練習を週1回から2回に増やしました。

私は選手から監督になり、2年前に念願かなって全国大会に出場することができました。「楽しく汗を流す」がチームのモットーです。

現在は娘さんが選手で活躍されているそうです。メンバー募集中のことです。興味のある方はぜひ！

親子クイズ 484

Q 次の①～⑩までの漢字の読みは？

- ①鰺 ②鮎 ③鮫鰐 ④鯉 ⑤鯨 ⑥鯖 ⑦鮫 ⑧鯛 ⑨鰯 ⑩鰯

【第483回解答】

- ① ♪ - (D) スタッカート - (G) その音を短く切って)
② ♪ - (C) テヌート - (F) その音の長さを十分に保って)
③ ♪ - (A) アクセント - (I) 目立たせて、強調して)
④ ♪ - (B) フェルマータ - (E) その音符を程よく伸ばす)

【第483回当選者】

小松 孝 (比江)
依光 美加 (甘枝)
山本 真一 (大浦甲)
横田 麻美 (大浦乙)
中村 早甫 (浜改田)

■応募締切／9月13日(木)必着

■あて先／〒783-8501

南国市大浦甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募

■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／38通

★正解率／92%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

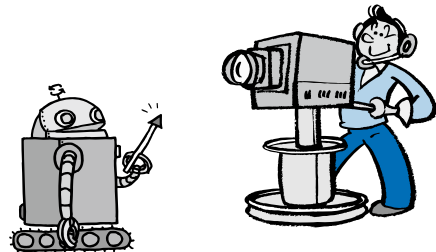
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2012四国地区大会の観戦

- とき／10月28日(日)13:00～17:00 (正午開場)
- ところ／県立青少年センター(香南市野市町)
- *JR土佐山田駅、ごめん・なはり線のいち駅から会場までの送迎バスを運行します(時刻は入場整理券に記載)。
- 内容／四国の高専全校(6キャンパス12チーム)が参加する、各校の自作ロボットの競技会を観戦します。
- 参加費／無料
- 申込方法
- ▶個人／往復はがきの往信用裏面に①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤希望人数・来場者氏名、返信用表面に①郵便番号②住所③氏名を明記し、お申し込みください。
- *はがき1枚につき、4人分まで申し込み可
- ▶団体／小・中学校単位の申し込みも受け付けます。メール、郵送またはFAXで①学校名②代表者氏名③希望人数・来場者氏名(生徒の家族も可)を明記し、お申し込みください。

*FAXで申し込む場合は、送信後に電話連絡をしてください。

■申込締切／9月27日(木)必着

■備考／10月15日(月)に入場整理券を発送します。



※申込先・お問い合わせは
高知高専学生課内高専ロボコン四国地区大会事務局
(〒783-8508 南国市物部乙200-1)
☎864-5625
FAX 864-5536
✉gakuseikk@jm.kochi-ct.ac.jp)まで

父が脳梗塞を患ってから10年ほどになる。当たり前のように、悪いことをすれば怒られ、良いことをすればほめられる。普通の親であった。また、仕事はバリバリとこなし、酒を飲むのも大好きな社交的な父であった。そんな父の大きな背中が、成長していく私に何かしらの威厳を見せていた。

高知県の少年非行の概要が発表され、平成23年中の非行率①および刑法犯検挙人員に占める刑法犯少年の割合は、いずれも前年に引き続き全国ワースト1位だった。また、ぐ犯少年②・不良行為少年③の数は、前年比100人増の6178人で、行為別では、深夜はいかがい3632人で最も多く、喫煙が1905人で続いている。

この背景には、子どもたち自身の抱えている性癖もあると思うが、それにもまして親の問題が多々あるのではないかと感じる。

7月1日付の高知新聞の「きょうの言葉」に、「子を養って教えるは、父の過ちなり」という言葉の解説が掲載されていた。「子どもにはいろいろなことを教えるければならない。というのも、どんな子どもも、大人になって、一人前の社会人として生きていくように育てなくてはならないから。どんな時代においても、それが親としての責任というものであらう」の書き出しで始まる文章に

「親の背中」

① 少年人口千人当たりに占める検挙・補導少年の割合。

② 一定の事由があつて、その性格または環境に照らして、将来罪を犯し、または刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年。

③ 飲酒、喫煙、けんかその他自己または他人の徳性を害する行為をしている少年。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(☎880-6569)まで